

## 11 月 12 日：VN 指数 4 日連続で下落 (VN-Index -0.44%)

- 本日の VN 指数は、昨夜の米国市場のあおりを受けて前日終値を大きくうわあわって開始した。
- 序盤は金融セクターが主役となって上昇したが、昨日までのモメンタムを打ち破るほどの強さは継続しなかった。
- 引き続き停滞した資金流入によって上昇の勢いは失われ、低調な取引となっていた。
- 後場には主要セクターである銀行、不動産セクターが下落し始めたことで相場全体が軟調となり、その方向感が大引けまで続いた。
- 120 銘柄が上昇、236 銘柄が下落、79 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 27.6% 下落し、14.2 兆ドンとなった。

### VN30 指数はさらに大きな下落 (VN-30 -0.65%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、5 銘柄が上昇し、20 銘柄が下落。1 銘柄が変わらずとなった。
- MWG (-3.49%) が最も大きな下落。それに続いて GVR (-1.50%)、MSN (-1.36%)、CTG (-1.29%) も軟調であった。
- SAB (+2.35%) は指数を支えた。

### セクター・個別株の動き

- 中国政府による景気刺激策の影響が予想を下回った影響で、国際石油価格が 2% 以上の下落を見せており、PVD (-4.54%)、PVC (-1.71%) などのエネルギー銘柄が軟調であった。
- CMG (+1.74%)、VTP (+6.98%)、VGI (+2.59%)、CTR (+1.39%) などの IT 関連銘柄は米国企業によるベトナムへの出資に関するニュースが好感されて逆行高となった。

- 外国人投資家は 6,080 億ドルの売り越しとなった。売り越しは TCB (-0.65%) に集中した。一方、STB (-0.74%) が最も買い越された。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。